



セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆様へ

世界の金融市場は此の処、米トランプ大統領の一挙手一投足から目が離せなくなっています。とりわけ日々の相場を一喜一憂させている主たる材料が米中間の貿易摩擦であり、政策当局の動向や関係各位の発言の変化によって、楽観と悲観が日々交錯して入り乱れ、市場の方向感を失わせている状況と言えます。

かようにマーケットはトランプ氏に翻弄され続けていますが、米国実体経済は引き続き堅調さを維持していて、穏やかな景気拡大を裏付ける指標が確認されている上に、トランプ減税が先行きの景気軌道を下支えしており、毎日の価格上下相場とは随分ちがいます。

もうひとつ、世界経済に大きな影響を与えるのが金利動向です。米経済が好調であることで、米政策金利が徐々に引き上げられて、米ドル金利上昇→ドル高→新興国通貨安という資金循環が想起され、新興国市場はおしなべて株安・通貨安を伴った資金流出傾向が続くなど世界の金融市場の「適温相場」が終わったことを示しています。

年初から世界同時好況という地球経済の良環境が「適温相場」を支えていましたが、適温は決していつまでも続かぬものです。米国景気の過熱感を抑制するための金融政策が利上げであり、利上げが続くことで景気は冷やされて行きます。とりわけマーケットではいつも、予想を超えた何かがそれまでのトレンドをガラッと変えてしまうものです。そしてその変化を事前に察知することがいかに難しいことか。

今回のトランプ関税動議から市場は右往左往を余儀なくされていますが、長期投資家はそうした市場の翻弄とは埒外の視線を持って、長期的な地球経済の成長軌道を改めて見定めることが大切です。言うまでもなく、何ら行動規範を変えず、長期投資をゆったり続けてまいりましょう！

代表取締役社長 中野 晴啓

ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00～17:00（土日祝日、年末年始を除く）

セゾン資産形成の達人ファンド

6月の市場動向

株式：【先行きへの明るい見方が広がりが途中で上りしたものの、中盤以降は貿易摩擦の深刻化への懸念が高まって軟調な展開】

イタリアの政治的な混迷への懸念が後退したほか、米国を中心に景気の力強さが確認されたことを受けて途中で上昇しましたが、中盤以降は米国と中国や欧州連合（EU）などとの貿易摩擦が深刻化することへの懸念が高まり、先行きへの不透明感が広がって下落しました。

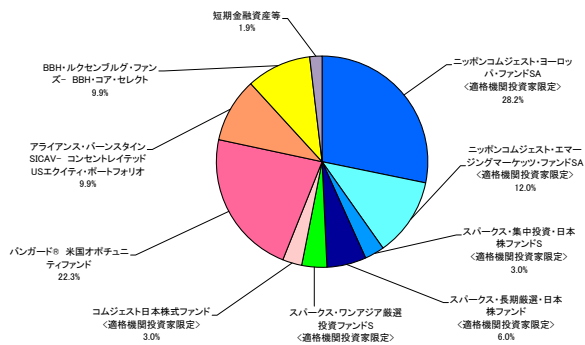
為替：【新興国通貨の下落が続くなかでドルとユーロが上昇。円は力強さを欠く動きとなり対ドル、対ユーロで下落】

政策金利の引き上げが続くことが見込まれているドルや、政策金利の引き上げを来年の夏まで行わない見通しが示されたものの年内に量的緩和の拡大策が終了することが決定されたユーロが上昇し、金融緩和の長期化観測が広がっている円が軟調に推移しました。

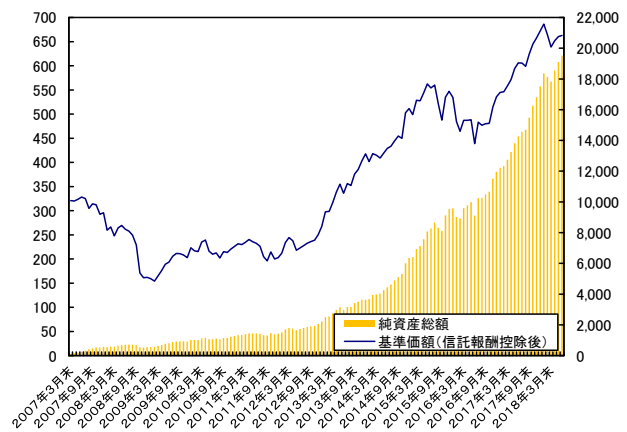
基準価額と純資産総額及び騰落率（2018年6月29日現在）

| 基準価額 | 純資産総額 | 設定来騰落率 | 過去1ヶ月の騰落率 | 過去6ヶ月の騰落率 | 過去1年間の騰落率 |
|---------|---------|----------|-----------|-----------|-----------|
| 20,827円 | 620.8億円 | +108.27% | +0.32% | -1.42% | +9.35% |

資産配分状況（2018年6月29日現在）



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



6月の運用状況

今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランなどのご購入により皆様からお預かりした資金を利用して、コムジエスト・エマーゼンディングマーケット・ファンド、BBH・コア・セレクト・ファンド、コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド、米国オポチュニティファンド、スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド、アライアンス・バーンスタイン・米国株式集中投資ファンド、スパークス・長期厳選・日本株ファンド、コムジエスト日本株式ファンド、スパークス・集中投資・日本株ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月からほぼ変わらず、月末時点で約1.9%です。

ファンドマネジャーからの一言

景気の先行きに対する従来からの明るい見方と、保護貿易の動きが強まることによる景気減速への警戒が交錯し、株式市場は不安定な動きとなっていますが、当ファンドは、市場全体の動きに追随することを意識することなく、投資先ファンドを通じて、将来の収益を高い精度で見積もることができると考えられる一部の銘柄のみを対象として多面的な調査を行うことにより、投資対象の長期的な価値を見極め、短期志向が強まっている市場において見過ごされている投資機会を活用することに集中しており、市場環境によって投資方針を変更することはありません。

当ファンドでは引き続き、地域的な分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な価格の動きではなく投資対象の価値を重視して株式投資を行うことでリスクを抑えながら、皆さまの継続的な投資を通じた長期的な資産形成のお役に立てるように努めて参ります。

運用部長 瀬下 哲雄

基本的な投資スタンス

私共が投資対象としているファンドは、いずれも中長期的な視点で投資を行っておりますが、保有している株式が割高となった場合やより良い投資機会を発見した場合、投資先の状況に大きな変化があった場合等については銘柄の売却を行うことがあります。もちろん、どのファンドも長期投資の理念を共有しており、短期的な売買を繰り返すことはありません。

私共は各投資対象ファンドについて、各ファンドがカバーする銘柄選択の対象を幅広くすることを意識しながら目標とする地域及びファンド毎の配分比率を決定します。その上で、主にファンドの購入により配分比率の調整を行っております。もちろん、短期的な市場動向の予測に基づいて投資先ファンドの売買を行うことはございません。

当ファンドでは、各投資対象ファンドがファンダメンタル分析に基づく中長期的な視点から各銘柄への投資を行い、その上で私共が十分に国際分散を図ることができるように資産配分を行うことで、皆様の長期的な資産形成に資するよう運用を行っております。

当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、投資元本を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆購入時に係る費用

購入時手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.5724%（税抜0.53%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%（税込/概算）となります。

その他の費用・手数料

当ファンド：監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他費用・手数料は、そのつど信託財産から支払われます。

投資対象とする投資信託証券：各ファンドにより、監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等がかかる場合があります。

※これらの費用は、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限等を表示することが出来ません。

※投資家の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00（土日祝日、年末年始を除く）